

令和元年度

栃西中だより

第9号

R元.12.2 発行

文責：小林勇夫



学校教育目標

- 進んで学ぶ生徒 (自主)
- 最後までがんばる生徒 (根性)
- 人のためにつくす生徒 (奉仕)

目指す学校像：共に学び共に伸びる栃西中

〔校内駅伝大会〕

11月15日(金)栃木市総合運動公園にて実施しました。
11月13日(水)永野川緑地公園での実施予定でしたが、台風被害により使用できなくなり、会場・日時を変更しました。各クラス男女混合チーム(A・B)を編成し、学年毎に合計タイムで競いました。生徒それぞれが精一杯走り襷をつなぎ、大いに盛り上がりました。多くの方の声援ありがとうございました。



やる気
笑顔
感謝

	優勝	準優勝	3位
3年	5組	3組	2組
2年	5組	4組	3組
1年	4組	2組	

〔ミルクの国とちぎ 中学生ポスターコンクール〕

栃木県牛乳普及協会主催のコンクールで、草野太紀さん(2-3)が応募した作品が、最優秀賞に選ばれ、11月11日に県知事からの賞状をいただきました。



〔第52回 下野教育書道展〕

- 準特選 酒巻来望さん(2-2)
- 金賞 野口まどかさん(1-2)、田村憲也さん(2-2)、田村紗乙さん(3-3)
- 銀賞 君田莉穂さん(3-2)、野口あかりさん(3-2)
- 銅賞 渡邊美桜さん(2-3)、藤沼千夏さん(3-4)

〔中学生の税についての作文〕

栃木県税事務所賞 草野太紀さん(2-3)

〔栃木市青少年問題協議会表彰〕

- 模範生徒 岩田大輝さん(3-1)
- 清水悦子さん(3-2)
- 小島璃旺さん(3-3)
- 山本慎二郎さん(3-4)
- 藤ノ木仁実さん(3-5)



〔栃木市教育祭表彰〕

- 善行 滝田奈生さん(3-1)、野口あかりさん(3-2)、田村紗乙さん(3-3)
- 功労生徒 山根大輝さん(3-4)、関口実都葉さん(3-5)

〔栃木ロータリークラブ表彰〕

- 優良生徒 黒子虎琉さん(3-2)

〔小さな親切運動 作文・標語コンクール〕

11月16日(土)栃木支部の表彰式がありました。作文の部では、新村日奈子さん(2-4)が**最優秀賞**、標語の部では、小川慎太郎さん(1-4)が**優秀賞**、大岡拓未さん(2-5)が**優良賞**をいただきました。新村さんの作品は県本部に出品され、**優秀賞(県教育長賞)**。さらに、中央本部に出品されました。全国からの応募数 42,379編の中から**優秀賞**に輝きました。素晴らしいことです。



思いやりのバトン

栃木市立栃木西中学校二年 新村日奈子

「声をかけたほうがいいかな?」

その日は校外での部活動で電車に乗っていた。帰りが遅かったので、車内はとても混み合っていた。私は部活の仲間と、つり革につかまりながら話に夢中になっていたが、ふと、前に座っていたおばさんの声が耳に入った。

「あそこのドアの前に立っているおばあさん。目をつむって、白い杖を持っていない?」
おばさんの見ている視線の先を見ると、白い杖を持ったおばあさんが、手すりに身を寄せてつかまわりながら、じっと立っている姿が目に入った。そのときに突然、「声かけたほうがいいかな?」という思いが頭をよぎったのだ。

すると電車が発車し、電車がグラッとゆれた。おばあさんは揺れる電車に体が倒れないように、必死に手すりにつかまっているように見えた。「あっ」と思ったが、私もバランスをくずした。電車の揺れは私の体を前に傾けた。考える必要はなかった。電車の揺れに背中を押されて、「よし。」と決めたとき、私は自然とおばあさんの方へ向かって歩くことができた。

おばあさんが立っている先に座席が少し空いている所があった。ドキドキしながら席まで歩いて行って、隣に座っている女性に、
「ここに一人座ってもいいですか?」

と尋ねた。私の心臓は周りに聞こえそうなくらい音をたてて、声も震えていた。そんな私に気付いた女性は優しい声で、

「どうぞ。」

と、言ってくれた。私は周りの人の迷惑にならないよう、「すみません」と、言いながらおばあさんのもとへ向かった。そして、

「大丈夫ですか。席を見つけたので一緒に行きましよう。」

と、勇気を振りしぼって声をかけた。すると、
「あら、そう。お願いしようかしら。」
と、明るい声で返事をしてくれた。

私はおばあさんの手をとって席へと向かった。その途中、周りの人は気を遣って、私たちに道を空けてくれた。私は、みんなに感謝の気持ちでいっぱいになった。

おばあさんは席に座ると、
「ありがとうね。お嬢ちゃん。他の人たちもありがとう。」

と、みんなにお礼を言っていた。おばあさんも、周りの人たちも、みんな笑顔になっていた。そして私も自然と笑顔になった。

みんなが協力して、みんなが笑顔になった時、最初に、私が立っていた前に座っていたおばあさんが、目の不自由なおばあさんに気付いたのは思いやりから。その思いやりが、席をずらして空けてくれた女性につながり、その女性の思いやりが周りの人たちを道を開けてくれた思いやりにつながっていった。まるで思いやりのバトンのように次々につながって、
みんなが笑顔になった。

そう思った時、私は最初に教えてくれたおばあさんのところに急いで向かった。



保護者の皆様へのお願い

新聞報道等でご承知のとおり、小6 女児誘拐事件があり、改めてSNSの危険性が指摘されています。また、長時間オンラインゲームをすることが、学業や生活へ悪影響及ぼすと専門機関から報告されています。そこで、お子様をSNS等による犯罪被害から守り、健全な成長を促すため次の点に留意して、改めて家庭のルール等を確認していただきますようよろしくお願いいたします。

- 1 携帯電話・スマートフォンを持たせないようにする。
- 2 音楽プレイヤー・携帯型ゲーム機を購入する場合やスマートフォンを貸す場合には、事前にルールを決める。特に「時間」、「場所」、「使用方法」等についてよく話し合う。
- 3 ルールを守らせることが大切。また、お子様の使用状況を見ながらルールを見直していく。